

3つの「間」を大切に！

少し前のあるローカル新聞に、「大切にしたい『間』がある」という記事があるのに目がいきました。それ以来、小学校での子ども達の姿を見ていると、この「間」についていろいろと考えさせられます。

「大切にしたい『間』とは、「時間」「仲間」「空間」です。「時間」や「仲間」については、先生達も保護者の方も「大事にしないといけないよ」という意味の言葉を子ども達に伝えられているのではないかと思います。しかし、「空間」の大切さについては、どうでしょう。私自身、「空間」ということ自体あまり子ども達に意識させていません。よく言われる「大切な『空間』は、「片付けがされたきれいな『空間』で、快適で・気持ちよく・能率よく仕事ができる『空間』」を指すことが多いのですが、別な意味で「空間」ということを意識すると、次のような風景が見えてくるのです。

○授業中、鉛筆の音だけが聞こえる教室。

（皆が一つの課題に向けて一生懸命に取り組む教室の雰囲気……これこそが、大切にしたい「空間」ではないか。）

○給食の後、隣の人と少し間隔をとって歯磨きをしている様子。

（本当は、近づいて話をしながら歯も磨きたいだろうに、大事な自分や友達を守るために、一人一人が考えて行動している姿……これこそが、大切にしたい「空間」ではないか。）

○授業中、「困ったな」と思った時に、隣を見たり、下を見たりする子ども達の姿。

（「困った姿」に対して、同じ「空間」にいるからこそ、「自分も『困っている』と、表現したり、助けたりする。先生も、「うん？どうしようかなあ」と考える。……これこそが、大切にしたい「空間」ではないか。）

上のようなことを考えながら、11月8日の「皆既月食」を眺めていました。今、みんなは、それぞれ別の家にいる。だけど、「一つの月を見る」ということから考えると、同じ「空間」で、同じ「時間」に多くの「仲間」と大事なひとときを過ごしている。

これからも、大切にしたい3つの「間」、「時間」「仲間」「空間」を意識しながら、子ども達の成長を応援していきたいと思います。

校長 田丸 栄